

**(A委員)**

- 学校評価を教職員、保護者だけでなく、生徒からの評価もできないか。**  
学校側回答 検討する。
- 塾に通う生徒がいることに関しては、学校として反省が必要なのではないか。**  
学校側回答 自習をしたい、マンツーマンで教えてほしいなど、生徒の様々なニーズがあるという意味では、塾も選択肢の一つではある。  
B委員意見 中学生にも塾に行く生徒がいるが、勉強の仕方が分からないとか、塾に行くことで安心するということもある。

**(B委員)**

- 「生徒が学校内外で挨拶をしない」とあるが、子どもたちは知っている大人(教員・保護者)には挨拶をするが、地域の人にはしない、ということなのではないか。**
- 1年生の保健室利用が多いが、生徒の体調不良や欠席の原因として、スマホの使用は関連しているか。**  
学校側回答 特に明確な関連性を感じることはない。
- 中学校の課題が高校につながっているように感じる。今後学校は、教員が生徒の要望も聞きながら校則改定等を行い、生徒同士の声かけ・自浄作用で良くなってくれたらと思う。**

**(C委員)**

- スクールカウンセリングはどのように行うのか。内容を開示することはあるのか。**  
学校側回答 生徒はもちろんのこと、保護者も希望すれば受けることができる。本人の承諾が取れたら、カウンセラー・担任・保護者の間で情報を共有することもあるが、カウンセリングの性格上基本的には内容を開示しない。
- 「プログレッシブ可愛山セミナー」の講師を選定する際に、生徒の希望はとっているか。**  
学校側回答 職員が選定し、生徒の希望はとっていないが、生徒にとって充実した講演になるよう想定して選定している。
- スマホの長時間利用は、大人も含めた社会全体の問題だと考えられるが、高校ではどのように改善をはかっているか。**  
学校側回答1 「文化常識」で、スマホ利用についての記事を取り上げ、1年次から啓発を行っている。年次が上がるにつれて校内でのスマホの不正使用が減少していくが、校門を一步出たら使ってしまう状況がある。  
学校側回答2 保護者から「子どもに送ったLINEの返事が来ない」と学校に電話がかかってくることもあるので、校内でのルールを保護者にも周知・徹底する必要がある。
- 学校関係者評価委員会の資料は、各部で数値の提示をしてもらえれば、より見やすくなると思う。**
- 色々なところで保護者とどう連携するかが大事である。**

**(D委員)**

- 高校生の子を持つ親としては、スマホ使用に関しては耳が痛い。講演などで言われたことを実行できたらいのだが、難しい。「敵はスマホ」と言い聞かせている。**
- この5年くらいで子どもとスマホの扱いに関してはかなり変化してきており、スマホを与え始める時期も低年齢化してきた。下の子どもが上の兄弟のスマホを、親が知らないところで触ったりしていることもある。**
- スマホでは本人が見たい情報しか見ないので、先生が生徒に聞かせたい講演を設定してくれた方が、色々な情報が得られてよい。**
- 子どもによっては家で勉強しないので、塾に入れてしまうこともある。学校の問題というよりは、本人の希望や性格、家の都合もある。**
- 子どもが学校が楽しいと言っているのがありがたいが、もっと文武両道に励んで欲しい。**